

みずほCustomer Desk Report 2025/06/12号(As of 2025/06/11)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	144.94
TKY 9:00AM	144.83	1.1438	165.60	GBP/USD	AUD/USD
SYD-NY High	145.47	1.1499	166.42	1.3509	0.6529
SYD-NY Low	144.33	1.1406	165.44	1.3567	0.6546
NY 5:00 PM	144.60	1.1487	166.07	1.3466	0.6496
	144.60	1.1487	166.07	1.3537	0.6503
	終値	(前日比)	終値	(前日比)	
NY DOW	42,865.77	▲ 1.10	日本2年債	0.7500%	▲0.0100%
NASDAQ	19,615.88	▲ 99.11	日本10年債	1.4600%	▲0.0200%
S&P	6,022.24	▲ 16.57	米国2年債	3.9505%	▲0.0718%
日経平均	38,421.19	209.68	米国5年債	4.0181%	▲0.0702%
TOPIX	2,788.72	2.48	米国10年債	4.4193%	▲0.0535%
シカゴ日経先物	38,335.00	▲ 35.00	独10年債	2.5385%	0.0075%
ロンドンFT	8,864.35	11.27	英10年債	4.5475%	0.0075%
DAX	23,948.90	▲ 38.66	豪10年債	4.2830%	0.0180%
ハンセン指数	24,366.94	204.07	USDJPY 1M Vol	10.05%	▲0.38%
上海総合	3,402.32	17.50	USDJPY 3M Vol	10.29%	▲0.13%
NY金	3,343.70	0.30	USDJPY 6M Vol	10.31%	▲0.08%
WTI	68.15	3.17	USDJPY 1M 25RR	▲1.28%	Yen Call Over
CRB指数	303.09	3.75	EURJPY 3M Vol	8.26%	0.03%
ドルインデックス	98.63	▲ 0.47	EURJPY 6M Vol	8.90%	▲0.07%

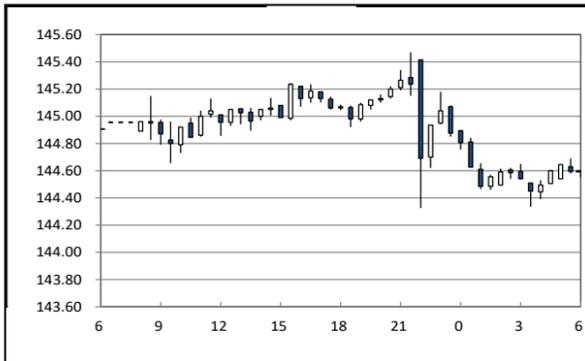
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
6月11日	21:30	米 CPI(前月比/前年比)	5月 0.1%/2.4%	0.2%/2.4%
	21:30	米 コアCPI(前月比/前年比)	5月 0.1%/2.8%	0.3%/2.9%

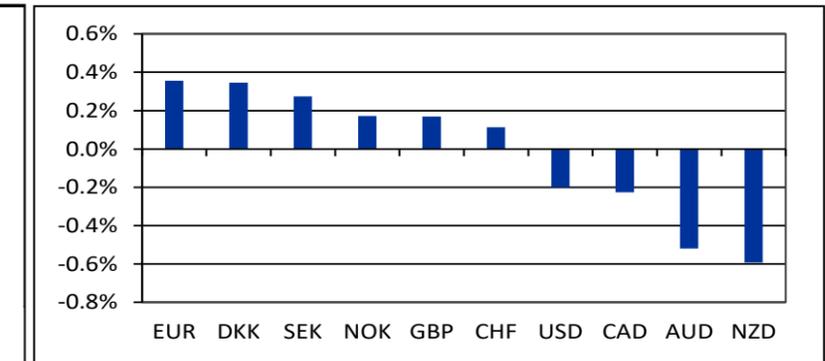
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
6月12日	15:00	英 鉱工業生産(前月比/前年比)	4月 -0.5%/-0.2%	-0.7%/-0.7%
	15:00	英 製造業生産(前月比/前年比)	4月 -0.7%/0.5%	-0.8%/-0.8%
	21:30	米 PPI(前月比/前年比)	5月 0.2%/2.6%	-0.5%/2.4%
	21:30	米 新規失業保険申請件数	7-Jun 242k	247k

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	142.50-145.50	1.1400-1.1600	163.00-168.00

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は海外時間に荒い値動きとなった。トランプ米大統領による米中協議進展の発信にこの日の高値145.47円まで上昇も、その後発表された米5月CPIの弱い結果を受けドル売りに転じると、ドル円はこの日の安値144.33円まで急落。直後値幅を取り戻す動きも見られたが、やはり上値は重かった。本日のドル円も上値の重い展開を予想。先日発表の米5月雇用統計で示された雇用の底堅さから市場の年内利下げ観測は後退していたが、それも昨日の米5月CPIの結果により早くも一服。来週に控えるFOMCでは政策金利据え置きが織り込まれているが、関税政策による実体経済への影響は来月以降の指標結果に徐々に反映される見通しであることは念頭においておきたい。本日も米5月PPI、また、新規失業保険申請件数の発表を控える。市場予想より良好な結果となったとしても、関税協議も含めた米国経済への先行き不透明感から積極的なドル買いは手控えられ、上値余地は限定的とみる。

東京	東京時間のドル円は144.83レベルでオープン。東京時間取引開始前に、中国代表団から米中貿易協議にて大枠のコンセンサスに至った旨の発言があったものの、具体性はなくドル円に与える影響は限定的。日中は財務省による早期の超長期債買入消却に対する期待感などから低下する本邦金利に連れられて、ドル円はじり高で推移し、終盤に145.24レベルまで上値を伸ばし欧州時間に渡った。
ロンドン	ドル円は145.24レベルでオープン。めぼしい材料のない中、米5月CPIを控え、145円を中心とした狭いレンジ内で方向感なく推移。145.29レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	NY時間のドル円は145.29レベルでオープン。朝方は米5月CPIが予想を下回ったことを受けたドル売りに、一時144.33まで下落。年2回の利下げ期待が織り込まれる中でも、ドル売りの勢いは続かず、ほどなくして発表前の水準まで値を戻す展開。その後のトランプ米大統領の中国との通商協議で合意成立との発言への反応は鈍かったものの、ドル売りが淡々と続く流れに再度安値水準まで値を下げるなど、全体的に方向感は定まらず、結局144.60レベルでクロスした。一方、ユーロは米5月CPIの結果を受け1.14台後半まで上昇。その後もドル売りが続く中で、1.1499まで上値を伸ばし、1.1487レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。